

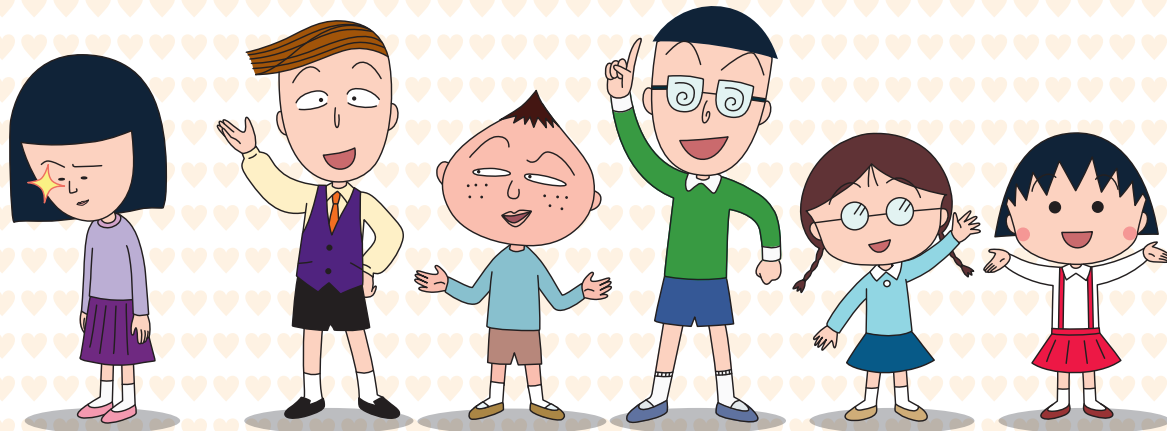
株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

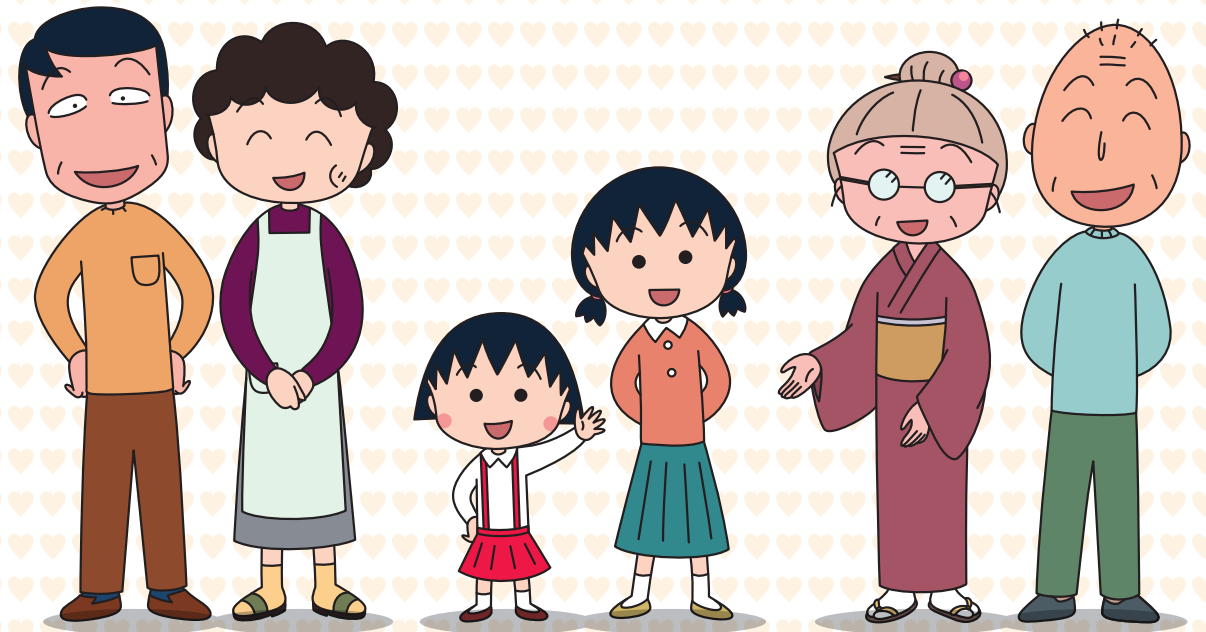
mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp



株式会社ミツウロコグループホールディングス

第108期 株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日



Investors' Note ～Mitsuuroko Overview～ 108th

感動を、次々と。

私たちは、いつの時代も暮らしのエネルギーとなる商品、
未来を拓くチカラとなるサービスを、
より多くの人へ街へ、届け続けます。



ミツウロコグループの 事業領域



電力事業

風力発電、バイオマス発電、メガソーラー発電、小売電気事業での電気販売



フード&プロビジョンズ事業

清涼飲料水製造・販売、飲食店や施設内売店・カフェテリアの運営、プレミアムバーガーレストラン、ボランティア・チェーンストアの経営等



業務サポート事業

情報システム開発・販売、財務・経理・人事・受発注・料金収納等各種業務の受託・代行・支援



エネルギー事業

LPガス、石油、新エネルギー機器等の販売、物流サービス



PM / 健康・スポーツ事業

オフィスビル、マンション等の賃貸、複合商業施設の経営



リース事業

一般事務用機器、情報通信機器、産業用機械、輸送機器等のリース



保険代理事業

火災保険、損害保険、生命保険等、各種保険の取り扱い

DATAで見る ミツウロコグループ

売上高

2,057億円

第108期連結 2016年4月1日～2017年3月31日

経常利益

47億円

第108期連結 2016年4月1日～2017年3月31日

設 立

1926年（創業1886年）

従業員数

1,661名

2017年3月末

エネルギー事業店舗数

79店舗

2017年3月末

フード&プロビジョンズ事業店舗数

247店舗

2017年3月末

LPガス供給軒数

約80万軒

2017年3月末

再生可能エネルギー発電量／年間

2億3千万kWh

グローバルな視点とダイバーシティへの対応、テクノロジーの推進により新たな事業に挑戦します

当期における我が国の経済情勢は、政府の経済政策等を背景に企業の景況感に持ち直しが見られ、雇用・所得情勢など緩やかな回復基調にあるものの、消費者物価の上昇や円相場の不安定な動き等から、個人消費については依然低迷が続き力強さに欠けるものとなりました。また、世界経済においても、中国を始めとする経済成長の鈍化や英国のEU離脱問題に伴う世界的な経済の不安に加え、米国新大統領の経済・貿易政策の動向や為替相場が不安定な状況で推移するなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、原油価格が上昇に転じるとともに、消費者の「省エネ意識」の定着と「省エネ機器」の普及から、世帯あたりのエネルギー使用量は減少傾向にあり、さらには小売市場において消費者の選択志向が強まるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況下、当社グループでは、エネルギー事業において、ガス＋光＋電気によるセット販売で新たなお客様の開拓を

展開し、また、家庭用LPガスお客様向け駆けつけサービス「ミツウロコあんしんバリュー」をメニューに加えるなど、お客様への安心・安全の品質向上に努めるとともに、中古車買取事業「カークル」において松戸高塚店、宇都宮南店、四街道店の3店舗を新たに开店するなど事業の拡大を図ってまいりました。

PM/健康・スポーツ事業では、オープン9年目を迎える横浜駅西口複合商業施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」において、おもてなし品質の向上やWeb集客にも注力し、電力事業においては、低圧電力の自由化に伴う販売増加に加え、市場での低廉な電力への注目度の高まりから、従前の高圧電力販売の需要が増加しました。

フード&プロビジョンズ事業では、2016年3月にオープンした「カールスジュニア秋葉原レストラン」に続き、10月には「カールスジュニアあらばーと湘南平塚レストラン」をオープンし、また株式会社ココストアリテール（2017年4月1日付で株式会社ミツウロコグローサリーに商号変更）の株式

取得によりボランティア・チェーンストアを展開するなど事業の拡大を図ってまいりました。

こうした取り組みにより、当社グループの当期売上高は前期比7.7%増の2,056億82百万円、営業利益は前期比8.1%増の38億94百万円、経常利益は前期比3.3%増の47億43百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2.8%増の26億98百万円となりました。

当社グループは、今後もグローバルな視点と、ダイバーシティへの対応、更にはテクノロジーの推進により、積極的に新たな事業やサービスの開発に努め、全てのステークホルダーの皆様に「豊かなくらしのにないて」として「感動を、次々と。」を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動にご理解をいただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

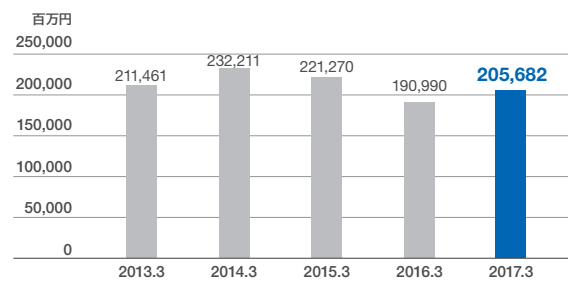
代表取締役社長 グループ CEO

田島 晃平

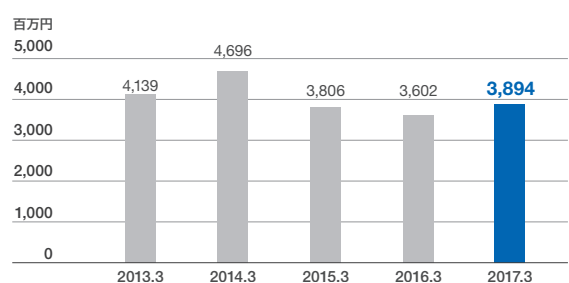


業績ハイライト

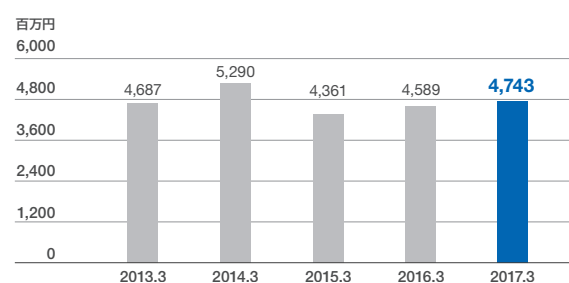
売上高



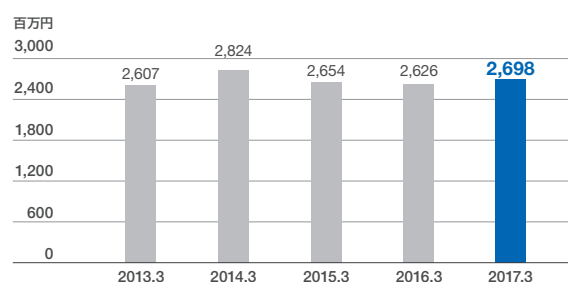
営業利益



経常利益

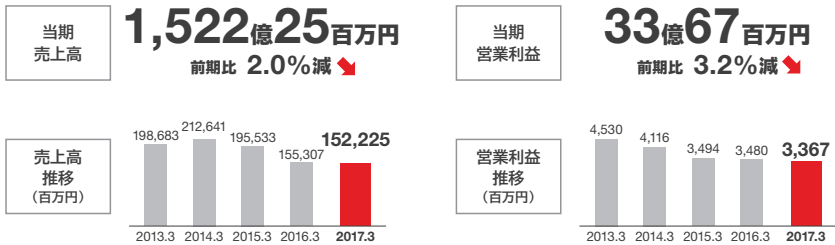


親会社株主に帰属する当期純利益



エネルギー事業

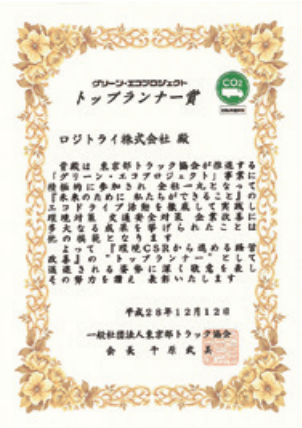
LPガス事業では、2015年より推進している通信事業「ミツウロコ光」と2016年4月からの電力小売自由化に伴いスタートした「ミツウロコでんき」の提供により、ガス＋光＋電気のセット販売で新たなお客様の獲得を展開しました。また、駆けつけサービス「ミツウロコあんしんバリュー」をメニューに加え、お客様への安心・安全の品質向上に努めています。石油事業では、中古車買取事業「カークル」の新規店舗を3店出店



Topics

ロジトレイが東京都トラック協会より
グリーン・エコプロジェクト「トップランナー」賞を受賞

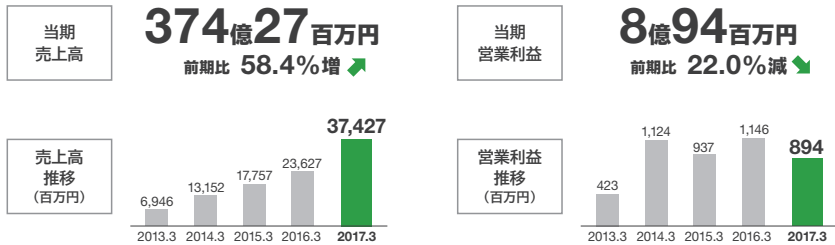
ロジトレイは、東京都が貨物運送事業者のエコドライブ等の日常的な努力を実走行燃費で評価する「貨物輸送評価制度」において4年連続で一つ星を獲得しています。その実績が評価され、東京都トラック協会が2006年に新規事業として地球温暖化防止対策の対応を図るため、独自のCO₂等削減対策を盛り込んだ「グリーン・エコプロジェクト」において「トップランナー賞」を受賞しました。2009年から創設された「トップランナー賞」は、継続的なエコドライブ活動の推進・支援、CO₂の削減や燃費向上に伴うコスト削減、事故防止等に向けた取り組みなどの実績が他社の模範となる企業を選定するものです。なお、「グリーン・エコプロジェクト」への参加社数は約660社、「トップランナー賞」受賞社数は累計72社となっています。



電力事業

小売電気事業では、2016年4月よりスタートした低圧電力自由化に伴い、低圧電力の販売増加に加え、市場での低廉な電力への注目度の高まりから従前の高圧電力販売の需要も増加しました。また、本年度より、ミツウロコグリーンエネ

ルギーにおいて福岡市に九州支店を開設し、販売拡大に努めました。その結果、売上高は前期比58.4%増の374億27百万円、営業利益は前期比22.0%減の8億94百万円となりました。



Topics

駆けつけサービス
「ミツウロコでんき安心サポート」提供を開始

ミツウロコおよびミツウロコグリーンエネルギーと東京電力パワーグリッド株式会社は、2016年4月より提供している家庭用電力「ミツウロコでんき」の電気需要家向けのアフターサービス（駆けつけサービス）に関し、業務提携を締結しました。

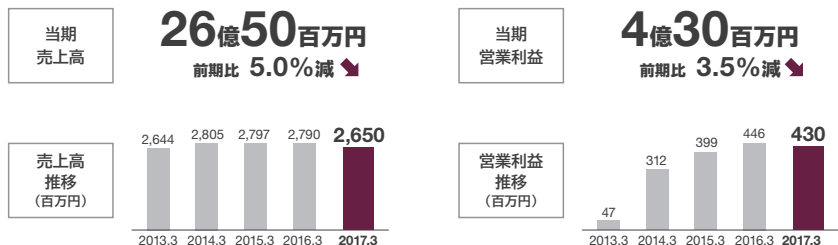
これまで有償対応となっていた電気需要家宅内で発生した電気のトラブルに関して、東京電力管内の「ミツウロコでんき」需要家宅内で分電盤や電線、コンセントなどの設備に起因する停電等のトラブルが発生した際に、24時間 365日体制の問い合わせ窓口へのご連絡により、東京電力パワーグリッドの担当者が迅速に駆けつけ、原則無償でアフターサービス（駆けつけサービス）を提供いたします。



PM/健康・スポーツ事業

健康・スポーツ事業では、オープン9年目を迎える横浜駅西口複合商業施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」において、全館キャンペーン、飲食店キャンペーンを開催いたしました。直営事業である温浴施設「SPA EAS(スパイアス)」では、ボウリング場「Hamabowl(ハマボール)」とあわせ、おもてなし品質向上に努め、Web集客にも注力し

ました。また、PM(不動産賃貸)事業では、マンションやオフィスビルの入居率向上をめざしリノベーション等施策を積極的に推進した一方で、賃貸用不動産の入替を行ったことにより、不動産賃貸収入は減少しました。その結果、売上高は前期比5.0%減の26億50百万円、営業利益は前期比3.5%減の4億30百万円となりました。



Topics

第10回、11回@nifty温泉ランキング 横浜天然温泉SPA EAS(スパイアス)が 2年連続全国ランキングベスト10入り

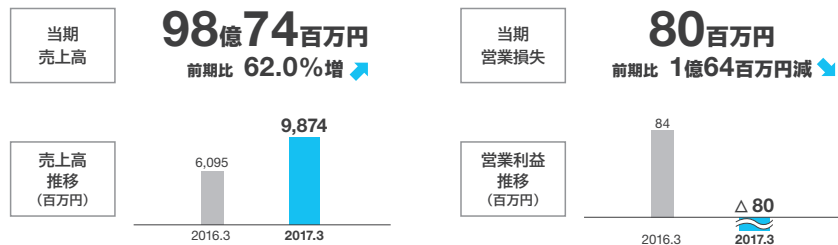
温泉・温浴施設情報専門サービス「@nifty温泉」が発表した「第11回@nifty温泉年間ランキング」において、横浜天然温泉SPA EAS(スパイアス)が、全国ランキングで2年連続ベストテン入りを果たし、全国約11,500施設の中から栄えある賞をいただきました。



フード&プロビジョンズ事業

2016年3月にオープンした米国カリフォルニア発プレミアムバーガーレストランチェーン「カールスジュニア秋葉原レストラン」に加え、10月に2号店となる「カールスジュニアららぽーと湘南平塚レストラン」をショッピングモール内に初出店しました。飲料水事業では、2015年の岐阜養老工場の取得により、西日本エリアの営業を強化し、販売量増加に

つなげています。また、前期に引き続き施設内売店およびカフェテリア等の店舗数拡大を図ったことや株式会社ココストアリテールの全株式を取得したことにより、売上高は前期比62.0%増の98億74百万円、営業損益は前期比1億64百万円減の80百万円の営業損失(前期は84百万円の営業利益)となりました。



Topics

株式会社スイートスタイルが ミツウロコグループの仲間に

2017年4月より、ベーカリー「麻布十番モンタボー」、カフェ「元町珈琲」を展開する株式会社スイートスタイルが当社グループに仲間入りしました。スイートスタイルが培ったベーカリーやカフェの運営ノウハウを取得するとともに、フード&プロビジョンズ事業の新たなブランドとして更なる発展を目指します。



カリフォルニア発 プレミアムバーガー「Carl's Jr.®」 3号店オープン

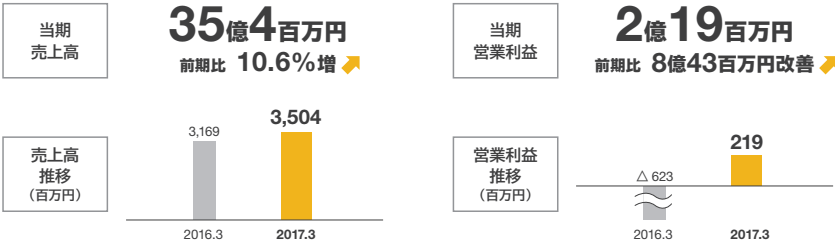
米国カリフォルニア発プレミアムバーガーレストランチェーン「Carl's Jr.®」が、2017年4月に3号店となる「カールスジュニア自由が丘レストラン」をオープンしました。自由が丘駅正面口徒歩1分に立地し、これまでの店舗とは一味違うお洒落な雰囲気の中でプレミアムなバーガーを中心とする多彩なメニューをご提供します。



その他事業

リース事業における取扱高の伸長および前年度に計上していた貸倒引当金繰入額がリスク債権の減少に伴い大幅に減少したことや、通信サービス拡充による顧客開拓を行ったこと等により、売上高は前期比10.6％増の35億4百万円、

営業利益は前期比8億43百万円改善の2億19百万円(前期は6億23百万円の営業損失)となりました。

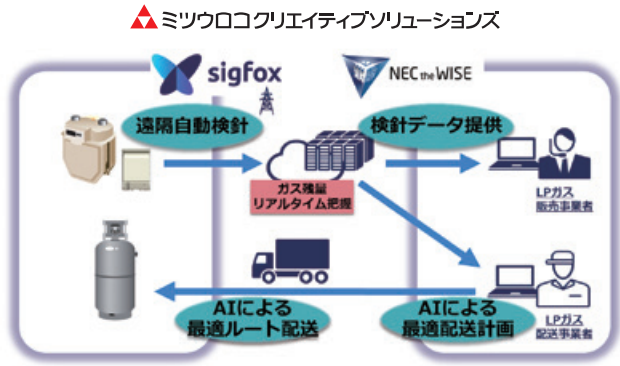


※2017年3月期より「その他事業」につきましては、フード&プロビジョンズ事業の拡大に鑑み、経営区分の見直しを行い、「フード&プロビジョンズ事業」「その他事業」に報告セグメントを変更しております。

Topics

AI・IoTを活用した国内初のLPガス配送業務効率化事業の提供へ

ミツウロコクリエイティブソリューションズは、日本電気株式会社、京セラコミュニケーションシステム株式会社と共同で、新無線通信技術「SIGFOX」によるAI・IoTを活用した配送業務効率化ソリューションを開発しました。LPガスメーターにIoT向け無線ユニットを設置し、「SIGFOX」の通信サービスにより遠隔で取得したLPガスメーターの指針情報を利用し、AIが配送日や配送ルート車両への積載容器本数を自動的に指示します。これにより、属人化したノウハウの継承を必要とせず、常に効率が良いLPガス配送業務が可能となります。



※これら一連のサービス(ビジネスモデル)の特許を出願中

連結財務情報

連結損益計算書(要旨)

科 目	当期	前期
	2016年4月 1日から 2017年3月31日まで	2015年4月 1日から 2016年3月31日まで
売上高	205,682	190,990
売上原価	174,129	161,504
売上総利益	31,553	29,486
販売費及び一般管理費	27,658	25,883
営業利益	3,894	3,602
営業外収益	1,310	1,422
営業外費用	461	435
経常利益	4,743	4,589
特別利益	100	1,272
特別損失	433	1,258
税金等調整前当期純利益	4,410	4,603
法人税、住民税及び事業税	1,702	1,970
法人税等調整額	△57	△129
当期純利益	2,765	2,762
非支配株主に帰属する当期純利益	66	136
親会社株主に帰属する当期純利益	2,698	2,626

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当期	前期
	2016年4月 1日から 2017年3月31日まで	2015年4月 1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,336	8,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,059	△4,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,389	△2,917
現金及び現金同等物の期末残高	35,037	37,150

当期のポイント

- ① 電力事業の低圧電力および高圧電力販売の需要増加およびフード&プロビジョンズ事業のランタリー・チェーンの店舗運営による事業拡大に加え、その他事業において前年度に計上していたリスク債権の減少に伴う販売費及び一般管理費の減少による営業利益の増加により親会社株主に帰属する当期純利益が増加しました。
- ② キャッシュ・フローの状況は、仕入債務の増加等により営業活動でプラス53億円、有形固定資産の取得により投資活動でマイナス20億円、長期借入金の返済および自己株式の取得により財務活動でマイナス53億円となりました。
- ③ 総資産は、売上債権の増加等により前期比30億円の増加、負債は、仕入債務の増加および長期借入金の減少等により前期比10億円の増加、また純資産は、利益剰余金の増加およびその他有価証券評価差額金の増加等により前期比20億円の増加となりました。

連結貸借対照表(要旨)

科 目	当期	前期
	2017年3月31日現在	2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	65,304	62,749
固定資産	66,205	65,693
有形固定資産	34,761	35,805
無形固定資産	3,229	3,457
投資その他の資産	28,214	26,430
繰延資産	27	36
資産合計	131,537	128,479
負債の部		
流動負債	29,388	24,889
固定負債	27,667	31,155
負債合計	57,055	56,044
純資産の部		
株主資本	67,966	67,410
その他の包括利益累計額	6,165	4,707
非支配株主持分	350	317
純資産合計	74,482	72,434
負債純資産合計	131,537	128,479



物流事業責任者インタビュー

「安全・安心」と環境への意識を高く持ち、強みを生かして事業領域を拡大していきます。

ロジトライ株式会社 代表取締役社長 竹内 正之

ミツウロコグループのエネルギー事業を担う物流専門会社

ロジトライはミツウロコグループの東北、関東、中部、関西地方の物流機能を統合した専門会社で、ミツウロコグループのエネルギー事業においてお客様と直接接点を持つ重要な役割を担っています。38事業所において417台のトラックを保有し、お客様のもとへLPガスの配送を行うほか、LPガ

ス充填所やオートガススタンドも運営しています。タンクへのLPガスの受け入れからバルクローリーへの払い出し、配送まで一貫して手掛けるなどの付加価値サービスも行っており、サードパーティロジスティクス（3PL：荷主ではない別の企業が荷主の物流業務を一括して受託する事業）の提供が可能であることが、ロジトライの大きな強みです。

「安全・安心」の経営理念で社会的責任を果たす企業に

エネルギーの配送会社として最も重要なことは、安全にガスを運び、安心してお客様に使っていただくことであり、ロジトライは、「安全・安心・迅速な物流サービスを通じて社会に貢献する」ことを経営理念に掲げています。幸いにしてドライバーを含め経験年数の長い社員が多いことは、お客様からの信頼につながっています。

昨年度から保有車両すべてにデジタルタコグラフ内蔵型ドライブレコーダーを取り付け、「安全運転コンテスト」を実施しています。急発進や急ブレーキを避けることで事故を減らすことはもとより、燃費の改善によるコスト削減およびCO₂の排出削減につなげることが狙いです。また、東京都トラック協会主催の「グリーン・エコプロジェクト」にも参加し、トップランナー賞を受賞しました。このような取り組みにより、社員一人ひとりに環境やコストへの意識を浸透させることでCSR（企業の社会的責任）を果たす企業となることを目指しています。

充填や配送の仕事の現場は厳しい上に法律等による規制も細かく、新しい人材の確保が難しい業態ですが、その中で働きやすい職場環境を作っていくことが安全・安心、CSRの実現にとって重要です。日々の業務の中で社員一人ひとりが考え、気づいたことを発信してもらって共有し、改善につなげていく仕組みを作っていきたいと考えています。

3PLの強みを生かし、関連事業多角化を目指す

人口減少と省エネ意識の定着によって家庭用LPガスの取扱量は減少傾向にあり、旧来の商材だけで長期的に生き残っていくことは困難です。現状はミツウロコグループが取り扱うLPガスの配送がロジトライの主力事業ですが、今後は3PLを提供できる強みを生かして、現業と関連する領域での事業多角化を進めていく方針です。事業領域を広げることは、配送エリアの効率化など合理化にもつながります。ミツウロコグループの充実した販売網と人財資産を活用して、ミツウロコが扱う蓄電池や日用品など様々な商材の物流取り扱い、またミツウロコ系列外のLPガス配送業務も積極的に取り込んでいきたいと考えています。社名に「ミツウロコ」が入っていないのは、この狙いもあるのです。

2017年度はロジトライにとって変革のための基盤づくりの年と位置付けています。物流事業の競争力を高めることで収益的にも自立し、ミツウロコグループの長期的な企業価値向上に貢献できる会社を目指したいと思っています。



会社概要・株式の状況

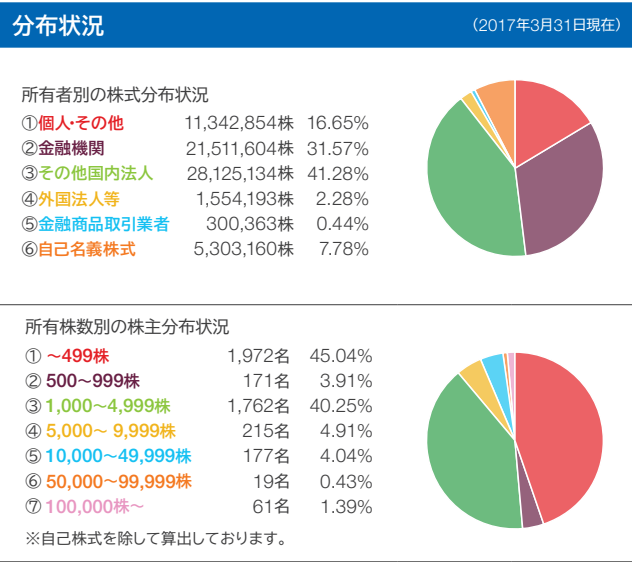
会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	49名／連結：1,661名（2017年3月31日現在）

役 員			（2017年6月23日現在）
代表取締役社長	グループCEO	田 島 晃 平	
代表取締役	グループCFO	渡 邊 雅 人	
取締役		二 見 敦	
取締役		児 島 和 洋	
取締役		川 上 順	
取締役		大 森 基 靖	
取締役		ゴ ウイミン	
取締役（社外）		柳 澤 勝 久	
取締役（社外）		松 井 香	
監査等委員である取締役		田 島 謙	
監査等委員である取締役（社外）		山 田 勝 重	
監査等委員である取締役（社外）		菅 原 英 雄	

株式の状況		（2017年3月31日現在）
発行可能株式総数	197,735,000株	
発行済株式の総数	68,137,308株	
株主数	4,378名	

上位株主				（2017年3月31日現在）
株主名	持株数（株）	持株比率（％）		
明治安田生命保険相互会社	5,544,000	8.82		
田島株式会社	4,327,000	6.89		
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,931,173	6.26		
東燃ゼネラル石油株式会社	3,894,061	6.20		
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口	3,135,300	4.99		
リンナイ株式会社	2,682,464	4.27		
全国ミツウロコ会持株会	2,088,284	3.32		
橋本産業株式会社	2,032,900	3.24		
株式会社パロマ	1,685,124	2.68		
株式会社三井住友銀行	1,676,331	2.67		

当社は自己株式を5,303,160株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。



株主メモ				
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで			
定時株主総会	毎年6月開催			
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	剰余金の配当	毎年3月31日
単元株式数	100株			
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社			
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部			
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（http://www.mitsuuroko.com/）に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。			

郵便物送付先・お問い合わせ先		
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）	
ご注意	住所変更、単元未満株式の買取および買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。 ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トランスラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店、みずほ銀行	本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。